

看護フェアを実施しました

5月11日(日)に草津エイクエアにて看護フェアを開催いたしました。



こんにちは「事務局」です

理事会報告(令和7年度 第1回理事会) 2025.5.17(日)

I あいさつ

II 決議事項

- 令和6年度事業結果(報告)について
 - 重点事業および主要事業報告(定款第4条に基づく事業)
 - 職能委員会
 - 地区支部
 - 常任委員会
- 令和6年度決算(案)について
- 令和6年度決算審査結果について(監査報告を含む)
- 定款改正(案)について
- 滋賀県看護協会 第2号議案
令和7年度改選役員及び推薦委員の選出について
- 職能委員会委員選任一部変更について
地区支部役員の選任について

III 協議事項

- 令和8年度県などへの予算要望(案)について
- 職能委員会審議事項および常任委員会諮問事項(案)について
- 通常総会開催に向けて

IV 報告事項

- 書面理事会報告
- 業務執行理事報告

V その他

理事会報告(令和7年度 第2回理事会) 2025.6.21(日)

I あいさつ

II 決議事項

- 役員の選任(案)について
- 業務執行理事の業務分担(案)について
- 公益社団法人滋賀県看護協定会款の改正に伴う定款細則の改正(案)について
- 令和7年度職能委員会委員一部変更について

III 報告事項

- 令和7年度理事会等地区支部長(地区理事)連携会議の年間予定について
- 令和8年度予算・政策に関する要望書
- 業務執行理事報告「日本看護協会総会」
- 役員推薦業務の手順書について

IV その他

- 理事・監事就任(新任・再任・留任)に伴う諸手続きについて

広報紙「ナースレーク」

Nurse Lake



Vol.167

2025年7月

公益社団法人
滋賀県看護協会



令和7年度 通常総会

CONTENTS

ごあいさつ	2	地区支部だより	8
《報告》「看護協会等に関するアンケート」について	2	委員会活動報告	9
令和7年 春の叙勲・受賞表彰	3	滋賀県ナースセンター	10
令和7年度 重点事業ならびに事業計画	4~5	訪問看護支援センターだより	11
令和7年度 役員・委員・地区支部役員	6~7	看護フェアを実施しました/こんにちは事務局です	12

発行所 ●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者 ●会長 草野とし子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468 FAX.077-562-8998
https://shiga-kango.jp/

モバイルサイト



滋賀県看護協会

検索

三方よし精神で 看護の力で
滋賀を元気に!

滋賀県看護協会会員数(令和7年6月1日現在)

保健師/ 284人 助産師/ 330人 合計 8,456人
看護師/ 7,737人 准看護師/ 105人

投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声(ご意見・ご感想)」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック! ▶次回発行は10月中旬予定です。

「看護の力」で地域と未来を支える ～確保・定着・成長へ向けて～



公益社団法人滋賀県看護協会 会長 **草野 とし子**

滋賀県看護協会会員の皆さまへ
平素より当協会の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

去る6月21日、ピアザ淡海にて通常総会を開催し、滋賀県知事代理の山田忠利様、県議会議長の目片信悟様等にご臨席いただきました。新たな執行体制のもと、新年度の歩みを進めております。今回の総会では、公益法人法改正に基づき、定款の一部を改正しました。改正の内容は理事の中に会員以外の理事が入ることが必要となったことによるもので、理事総数を1名増加し20名とする議案を提出し承認を得たものです。この変更に沿って、次年度に会員以外の理事の選出を行うこととなります。多様な視点を取り入れ、より開かれた協会運営を目指してまいります。

今、社会の焦点は「2025年問題」から「2040年問題」へと移行しつつあります。急速な少子化、人口減少、高齢化が進む中で、看護職を取り巻く環境はこれまでにない厳しさを増しています。まさに今こそ、看護職の「確保」「定着」そして「看護職の資質向上」が急務となっています。

このような背景のもと、滋賀県看護協会では、ナースセンター事業の強化をはじめ、働き続けられる職場環境づくりや若年層への看護の魅力発信に注力しています。

特に、看護師を志す若年層への支援として実施している「一日看護体験」や看護の魅力配達事業は、生徒にとって進路決定に大きな影響を与えていると伺っています。昨年からは、中学生にまで拡大して開催することで、より多くの若者に看護を伝えていくことができている。

一日看護体験は、受け入れていただく各機関でのご負担が大

きいと認識していますが、現場の中で体験することは、より身近な存在として看護者を感じ、看護という仕事を具体的に思い描ききっかけとなり、職業選択がより具体化するかと考えます。

看護職の確保と定着を図るこれらの取り組みは、短期間で成果が出るものではありません。しかし、地域全体で継続的に取り組みを重ねていくことで、確かな成果につながると信じております。どうか、今後も皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

また、日本看護協会が本年6月に発表した「看護の将来ビジョン2040」は、私たち看護職に対し、より長期的かつ俯瞰的な視点と、柔軟な発想の転換を求めています。2040年には、現役世代が急減する中で、看護ニーズはさらに増大・多様化し、ICT活用、多職種連携、そして高度な専門性と倫理的判断力が一層求められる時代となります。

滋賀県看護協会としても、このビジョンを共有し、地域包括ケアを支える看護職の連携強化、生涯学習支援体制の充実、そして一人ひとりが自律的にキャリアを描ける環境づくりを柱に、今後の事業展開を進めてまいります。

看護の未来は、現場で働く看護職の皆さま一人ひとりの力によって支えられています。日々の実践の中で生まれる誇り、やりがい、そして人と人との温かいつながりを大切にしながら、地域に根ざした看護の価値を次世代に伝えていきたいと考えております。

当協会の合言葉である「三方よし精神で 看護の力で滋賀を元気に!」のもと、県民の「いのち・暮らし・尊厳をまもる看護」を実現すべく、今後とも積極的に活動してまいります。

皆様には、協会事業への一層のご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

報告 「看護協会等に関するアンケート」について 調査期間：令和6年9月～11月30日

本会では、会員および非会員の皆様の思いやニーズを把握することで、より多くの方々に看護協会の活動を知っていただき、魅力ある組織づくりの手がかりを得ることを目的としてアンケートを実施いたしました。

WEB調査を行った結果、2,726名からご回答をいただきました。調査結果の一部をご紹介します。

【看護協会の活動を知ったきっかけ】▶「研修に参加して」が最も多く、次いで「日本看護協会ニュース」、「ナースレーク」という順でした。

【主な事業の認知度】▶看護協会の主たる事業に関する認知度では、「生涯学習研修」が最も高く、回答者の8割以上の方がご存知でした。次いで「看護学会」(66%)、「ナースセンターの無料職業紹介」(59.4%)でした。認知度を年齢別に見ると、どの事業も年齢が上がるにつれて認知度が高くなる傾向が見られました。災害支援

ナースの活動などは、特に若年層にも知っていただきたい取り組みであり、さらなる周知が必要であると考えております。

【入会してよかったこと】▶「参加したい研修に参加できる」が最も多く、また「活動や研修会を通じて交流やつながりができた」という点も多くの方が評価されていました。

【今後の方向性】▶今回のアンケート調査を踏まえ、看護協会では、活動内容やメリットの「見える化」を進め、特に若年層への訴求力を高める必要があります。

- 入会後のフォロー体制やライフステージに応じた支援(育児・復職支援など)を強化することで、会員の継続的な定着が期待されます。
- 情報発信の方法(Web・SNS等)の検討も、今後の重要な課題です。会員の皆様とともに、「一人では解決できない課題に組織として取り組む」協会づくりを目指して、今後も活動を進めてまいります。

※結果の概要は、ホームページに掲載しています。

受賞おめでとうございます

永年のご活躍に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。 ※敬称略、所属は推薦当時

令和7年春の叙勲 瑞宝双光章



松並 睦美

元 済生会滋賀県病院副院長兼看護部長
現 特別養護老人ホーム「淡海荘」荘長
滋賀県看護協会副会長

令和7年 日本看護協会 名誉会員



高橋 里亥

元 滋賀県立大学人間看護学部教授
元 滋賀県看護協会副会長

看護功績章

- 三矢 早美 元 滋賀県
- 吉岡 千晴 高島市民病院
- 古川 洋子 滋賀県立大学
- 渡邊 良子 市立大津市民病院

看護功労者知事表彰

- 木村 美紀 愛荘町役場
- 森 みち子 長浜赤十字病院
- 北村八重子 北村助産院
- 西川 敬子 滋賀県看護協会
- 古株ひろみ 滋賀県立大学
- 藤本 栄江 高島・安曇川地域包括支援センター
- 西村 由香 市立大津市民病院
- 吉川 敬子 市立長浜病院
- 上村千馨子 彦根市立病院

日本看護協会会長表彰

- 木林 智子 介護老人保健施設ケアセンターこうせい
- 平井里津子 (株)サンガジャパン琵琶湖大橋翔裕館1号館

滋賀県看護協会会長表彰

- 大橋あかね 粟東市役所
- 奥沢恵津子 滋賀県高島健康福祉事務所(高島保健所)
- 中村 恭子 特定非営利活動法人結の家
- 西川 純子 滋賀県東近江健康福祉事務所(東近江保健所)
- 西本 美和 大津市役所
- 宮田 陽子 粟東市役所
- 岡田 裕子 高島市民病院
- 赤澤 忍 大津赤十字病院
- 伊藤 雅子 市立長浜病院
- 大石 美紀 大津赤十字病院
- 大島由里子 滋賀県立精神医療センター
- 大坪 久代 市立野洲病院訪問看護ステーション
- 奥村 紀子 市立大津市民病院
- 河村 光子 淡海医療センター
- 小崎 信子 滋賀医科大学医学部附属病院
- 小寺 昌恵 大津赤十字病院
- 澤田さよ子 高島市民病院
- 高橋ひろ好 長浜赤十字病院
- 寺田 麻子 市立大津市民病院
- 富岡 康弘 長浜赤十字病院
- 林 真由美 滋賀県立精神医療センター
- 平井 詠子 淡海医療センター
- 深尾かおり 滋賀県立総合病院
- 藤田 晶子 彦根市立病院
- 本田 智美 滋賀県立看護専門学校
- 山岡亜也子 滋賀県立総合病院
- 山田 みか 市立長浜病院
- 山本こゆみ 滋賀県立総合保健専門学校
- 横谷 恵 市立大津市民病院
- 若島 牧子 草津看護専門学校



令和7年 協会会長表彰受賞者記念撮影

令和7年度重点事業ならびに事業計画

滋賀県看護協会では、定款の目的に示す「県民の健康な生活の実現に寄与する」の実現に向けて重点事業を掲げて、活動を推進しています。

少子高齢化が進む状況の中で、国では2040年を展望し、「誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現」に向けた取組として、「多様な就労・社会参加の環境整備」「健康寿命の延伸」「医療・福祉サービスの改革による生産性の向上」等を示しています。

滋賀県看護協会においても、これらの国の方向性も考慮しつつ、事業を推進することが必要です。

■人生100年時代に生涯にわたり活躍する看護職の学びの支援

日本看護協会では、看護職の生涯にわたる能力開発などを支える学習支援が必要であることから、看護職の生涯学習支援体制を構築し、これに沿った看護職の資質向上を図ることとしています。

本会でも、生涯学習ガイドライン等に沿った学習内容を充実するとともに、各現場においても生涯学習支援を通して、看護職の主体的な学びが定着するよう支援します。

■労働力人口の減少する中での看護職等の確保・定着

看護職の活躍する場が多様化し、働き方も変化が求められています。今後ますます少子化が進み18歳人口の減少する中、さらに看護人材の確保の困難さが予測されます。看護職養成・確保と共に、定着をすすめ、多様な就労の場の提供やあらゆる年代の看護職がやりがいをもって働き続けられる職場環境づくりが必要です。

また、看護職がいきいきと働き続け、より質の高い看護を行うためには、看護職自身のウェルビーイングの向上に努めることが必要であり、これを推進します。

■全世代の健康を支える看護機能の強化

看護の「場」は多岐に渡っており、看護職はそれぞれの看護の「場」で地域の人々の健康と生活をささえています。全世代の健康を支えるには、保健医療福祉各分野の看護機能の連携を強化し、地域を面で支える看護提供体制の構築が必要です。看護職には、暮らしの場での療養が継続可能となるよう体制を整備する役割が求められます。

多様な場での看護職の活躍を支援するため、現場の課題や好事例等の交流や研修などの充実を図ります。

■感染症や自然災害等の体制整備

改正感染症法・医療法等において新設された「災害・感染症医療確保事業に係る人材の確保等」に基づき、国・県主導による応援派遣体制の枠組みの中で、県との連携により円滑な応援派遣調整を行います。

また、災害支援ナースの養成を継続して行うとともに、行政等関係機関と連携し、感染症や自然災害等の体制整備の充実を図ることが必要です。

■SDGs実現に向けた取組みへの参画

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals, SDGs)」

本会の重点事業は、国連が提唱する「SDGs」の「3 すべての人に健康と福祉を」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「8 働きがいも経済成長も」の実現につながるものであることから、関連づけて明示し、取組みへの参画をすすめます。

1 あらゆる場での看護の質向上のための看護実践能力の強化

1 看護職自身が主体的に生涯学習をすすめること及び看護実践能力向上への支援

- 1) 看護実践能力習熟段階を活用した生涯学習支援計画に基づき研修会を実施し、その評価を行う。
- 2) 保健師のキャリアラダー及び助産実践能力習熟段階においても生涯学習支援をする。
- 3) 病院看護管理者のマネジメントラダーに基づく研修体系に必要な研修受講推進を図る。
- 4) 看護管理実践能力向上のために、認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベルの開催。

2 看護職個々の生涯学習を組織で支援することの強化

- 1) 組織において看護職の生涯学習支援の担当する者の意見交換会の場を持つ。
- 2) 生涯学習支援を自組織で取り組むために研修会を持つ。

3 看護基礎教育と臨床現場の関係者等との連携強化を図り、看護基礎教育の充実への支援

- 1) 看護基礎教育代表者及び関係者（看護管理者・行政など）との情報交換会を開催する。

4 様々な分野で活躍する看護職の看護実践力向上とやりがい支援

- 1) 看護実践力向上に向けた研修を企画し実施する。（介護施設、慢性期療養型病院、外来・診療所、精神科等）
- 2) 関係病院の看護管理者代表者会議を開催する。（精神科病院等）
- 3) 関係病院の看護実践の好事例を収集するなど、看護職間で共有できる場を作る。

5 感染症対応や自然災害看護の実践力の向上

- 1) 感染症・自然災害発生時をイメージした研修会の開催

2 看護職等の確保定着及び働き続けられる職場環境づくりの推進

1 若年層に加え幅広い対象に看護の魅力発信を強化

- 1) 各教育機関へ訪問し、看護の魅力発信の拡大を図る。
- 2) 「看護の日・看護週間」看護フェアを活用し、若年層と保護者及び県民へ看護を広報する。同時に県内看護職養成校への進学・地元への就職をはたらきかける。
- 3) 広報活動を強化し幅広い人々へ看護の魅力を発信する。

2 多様な場と働き方を推進し地域に必要な看護職の確保・定着を支援

- 1) 県・市町行政と連携し看護職等の地域偏在改善に向けた会議参

加と対策実施を支援する。

- 2) 看護職養成校の授業一環として看護学生キャリア支援ガイダンス交流会を開催し職場選択とキャリアを考える機会とする。
- 3) 地区支部活動や地域看護ネットの中で地域の特性を生かした確保定着事業を支援する。
- 4) 潜在看護職や未就業者を対象に、復職支援研修受講者増を図り、再就業を支援する。
- 5) 潜在看護職やプラチナナースが就業できる職場環境整備と就業を支援する。
- 6) サポートナース登録者の管理を通じて必要時対応する。
- 7) 「看護職のまなびサポートブック」を活用し、様々な場で働き続けられるように支援する。

3 看護補助者確保・定着推進を支援

- 1) 新規看護補助者確保に向けて、県・ハローワーク・各医療機関との連携を図る。
- 2) 就業後の定着促進に向けた研修を開催する。
- 3) 日本看護協会の「看護補助者の確保・定着に関する情報」の活用・周知を図る。

4 生涯を通じて健康に働き続けるためのヘルシーワーク推進を支援

- 1) 看護業務の効率化・生産性の向上に取り組まれた施設の活用周知を図る。
- 2) 健康で安全な職場環境づくりの推進に向け管理者を支援する。

5 看護職の専門性を発揮するための、タスク・シフト/シェア推進の支援

- 1) ガイドラインを活用した各施設におけるタスク・シフト/シェアの取組を支援する。
- 2) 他の医療従事者との連携を図り安全性の確保と専門能力の発揮に向け環境整備の推進に取り組む。
- 3) 看護補助者向け日本看護協会の標準研修（オンデマンド）を周知し効果的な研修受講の推進を図る。

3 全世代型地域包括ケアシステムの推進と看護職連携強化による地域看護力の向上

1 地区支部活動や地域看護ネットの推進による地域包括ケアの実現

- 1) 各支部で地域特性を活かした地域包括ケアの実践とシステム構築に向けた取組みを推進する。
- 2) 専門看護師や認定看護師等の協力を得て、病院と施設等が連携して地域の看護力向上を図る。
- 3) 各圏域の課題解決に向けて、地区支部活動や地域看護ネットの活動を通して在宅療養を支える看護職やその他の専門職との連携を図る。
- 4) 地域看護ネットの代表者による会議開催及び取組みを合同報告会で共有する。

2 在宅療養を支える訪問看護や看多機および介護施設等の看護サービスのさらなる質向上

- 1) 訪問看護ステーションの大規模化を目指し、経営・管理運営に関する相談事業を充実する。
- 2) 看多機の管理者交流会において、看多機の特徴や機能を紹介する動画を作成することで活用推進を図る。

- 3) 介護施設等に勤務する看護職に対して、尊厳を守るケアをテーマに研修会を開催する。

3 地域における病院・診療所の外来看護機能の充実

- 1) 外来看護の役割や機能を共有できる研修会を開催する。
- 2) 事例を通して、病院・診療所の外来看護の機能や連携について検討する。

4 健康寿命延伸を目指した看護活動の推進

- 1) 各支部や地域看護ネット、職能の活動において、疾病予防や健康の維持・増進に資する看護活動を実践する。

5 安心して生み育てるための看護職連携強化

- 1) 妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供するため、看護職の役割やネットワークの重要性について様々な機会を通して共有する。
- 2) プレコンセプションケアについて、行政や学校、その他関係分野とともに推進する。
- 3) 周産期医療関係者の顔の見える関係づくりを推進するための研修・交流会を開催する。

4 組織力強化

1 看護職の活動・実践におけるSDGs実現に向けた取組への参画

- 1) 各種事業推進において、SDGsの目標「3 すべての人に健康と福祉を」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「8 働きがいも経済成長も」に関連する事業でもあることを意識して取り組む。

2 「かいつぶりのわ」広報誌や「看護の日」イベント等により、県民への看護活動のピーアール継続

- 1) 健やかに生まれ育つことへの支援をテーマに「かいつぶりのわ」8号の発行。
- 2) 若年層と幅広い対象に向けた「看護の日」のイベント等により、看護の魅力を開発する。

3 専門職能団体の意義の啓発により、会員増をめざした取組み強化

- 1) 地区支部及び地域看護ネットにおける活動により会員増に向けての取組みを強化する。
- 2) 新卒看護職員交流会や卒業前の学生に対して看護協会活動やナースセンターの社会的役割や機能について啓発し、新入会員の増加を図る。
- 3) 入会を勧める内容を掲載した生涯学習支援計画等を会員以外にも配布する等、非会員に看護協会に入会するメリットを伝える機会の確保に努める。
- 4) 会員施設に訪問するなど、看護管理者の意識にも働きかける。

4 災害支援・受援体制の充実

- 1) 国、県、日本看護協会の災害支援ナースの仕組みの変更を基に、災害支援ナースを育成し、有事の際に備える。また、平時より体制整備する。
- 2) 災害発生時の対応力強化を図るために、「災害支援マニュアル・受援マニュアル」を見直し、平常時からの体制整備をする。
- 3) 事業継続計画に準じて、訓練を実施し計画を更新する。

令和7年度 役員・委員・地区支部役員

※敬称略

滋賀県看護協会 役員

会 長	保	草野とし子	滋賀県看護協会
副 会 長	保	黒橋真奈美	滋賀県立大学
副 会 長	助	吉岡 千晴	高島市民病院
副 会 長	看	松並 睦美	特別養護老人ホーム淡海荘
常 務 理 事	保	平岡 千夏	滋賀県看護協会
常 務 理 事	看	岡田 幸子	滋賀県看護協会
常 務 理 事	看	村中千栄子	滋賀県看護協会
職 能 理 事	保	西本 美和	大津市役所
職 能 理 事	助	谷川摩里子	近江八幡市立総合医療センター
職 能 理 事	看	小寺 利美	滋賀医科大学医学部附属病院
職 能 理 事	看	新川 康子	地域包括ケアセンターいぶき
第一地区理事	看	北川 有紀	滋賀医科大学医学部附属病院
第二地区理事	看	北尾知恵子	市立野洲病院
第三地区理事	看	大西 明子	国立病院機構紫香楽病院
第四地区理事	看	奥村 茂	青葉病院
第五地区理事	看	藤田 晶子	彦根市立病院
第六地区理事	看	伊藤 雅子	市立長浜病院
第七地区理事	助	岡田 裕子	高島市民病院
准看護師理事	准	村元 和子	友仁山崎病院
監 事	看	伊藤美千代	個人
監 事	保	今堀 初美	個人
監 事	(保・助・看・准以外)	木村孝一郎	個人

職能委員会

保 健 師 職 能 委 員	委員長	保	西本 美和	大津市役所
		保	木村 理加	大津保健所 子ども発達支援センター
		保	三津川はつき	守山市役所 子育て応援室
		保	堀ノ内一恵	甲賀市役所 人事課
		保	中原 江理	竜王町 福祉課
		保	鈴木 弘美	愛荘町 福祉課地域包括支援センター
		保	中西 玲子	長浜保健所
		保	橋本 理恵	高島市 健康推進課
助 産 師 職 能 委 員	委員長	助	谷川摩里子	近江八幡市立総合医療センター
		助	安川 七恵	大津赤十字病院
		助	中井 愛	滋賀医科大学医学部附属病院
		助	三田村七福子	淡海医療センター
		助	角山 尚美	近江八幡市立総合医療センター
		助	中尾 照美	清水産婦人科
	助	津田まゆみ	長浜赤十字病院	
看 護 師 職 能 I 委 員	委員長	看	小寺 利美	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	仁志出幸子	市立大津市民病院
		看	藤本 泉子	滋賀県立総合病院
		看	大槻 美幸	国立病院機構紫香楽病院
		看	竹内 真紀	東近江総合医療センター
		看	香川 純子	彦根市立病院
		看	毛利由布子	市立長浜病院
		看	山極 恵子	高島市民病院

看 護 師 職 能 II 委 員	委員長	看	新川 康子	地域包括ケアセンターいぶき
		看	中出たけみ	特別養護老人ホーム淡海荘
		看	長田加奈子	うさぎナースケア
		看	増田美也子	看護多機能小規模型居宅介護施設 ナーシングホームすずらん
		看	吉村 秀隆	スキナヴィラ水口
		看	大谷まどか	訪問看護ステーションすばる
		看	昆陽有希恵	滋賀県済生会訪問看護ステーション
		看	田中千香代	小規模多機能型居宅介護事業所 はびねすマキノ

常任委員会

教 育 委 員 会	委員長	看	石田 朋子	大津赤十字病院
		看	古川 晶子	公立甲賀病院
		看	櫻木 秀幸	済生会 滋賀県病院
		看	北岡 聡美	大津赤十字看護専門学校
		助	西川 早織	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	間惣 友紀	生田病院
		看	田村 聡美	近江八幡市立総合医療センター
		看	中村 春恵	彦根市立病院
		看	森木 美佐	神崎中央病院
		保	寺田 裕美	東近江保健所
		看	柴田 郁子	特別養護老人ホーム 青芳
		看	水谷 清美	高島市民病院

認 定 看 護 管 理 者 教 育 運 営 委 員 会	委員長	看	河上 圭代	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	西村 路子	県立総合病院
		看	小森久美子	市立野洲病院
		看	米田 照美	滋賀県立大学

看 護 学 会 委 員 会	委員長	看	大内正千恵	市立野洲病院
		保	秋岡 悠	たねや CLUB HARIE
		看	奥 佳奈	淡海医療センター
		看	野田 智子	県立総合病院
		看	安田 千寿	聖泉大学
		看	玉川あゆみ	滋賀県立大学
		看	西村 洋子	県立看護専門学校

看 護 活 動 推 進 委 員 会	委員長	看	小野 陽子	長浜赤十字病院
		看	梅田 梨紗	ひかり病院
		看	新田小百合	大津赤十字志賀病院
		看	宮田 淳	市立野洲病院
		看	與那城隆幸	水口病院
		看	久田 由香	近江温泉病院
		看	千嶋 恵梨	友仁山崎病院

労 働 環 境 改 善 委 員 会	委員長	看	中井 純子	公立甲賀病院
		看	吉田すみ子	市立大津市民病院
		看	安田 浩二	滋賀県立精神医療センター
		看	横山 愛功	近江八幡市立総合医療センター
		看	井邊久美子	彦根中央病院
		看	伊吹 美加	長浜市立湖北病院
		看	石黒 徳章	今津病院

広 報 委 員 会	委員長	看	梶本久仁子	県立総合病院
		看	清水多光子	滋賀里病院
		看	田村 麻里	市立大津市民病院
		看	樋田 実	日野記念病院
		看	小野 美雪	淡海ふれあい病院
		看	山中 曜子	甲南病院
		看	渡辺 奈々	彦根市立病院

災 害 看 護 推 進 委 員 会	委員長	看	中村 大介	高島市民病院
		看	北川智香子	草津市役所
		看	野矢 忠男	済生会 滋賀県病院
		看	河野ひとみ	公立甲賀病院
		看	山本 武虎	湖東記念病院
		看	田中 和子	豊郷病院

医 療 安 全 推 進 委 員 会	委員長	看	森田 保	公立甲賀病院
		看	東田 元子	地域医療機能推進機構滋賀病院
		看	平野千穂美	大津赤十字病院
		看	飯間喜美幸	南草津病院
		看	吉崎 直美	ヴォーリス記念病院
		看	横田こず江	豊郷病院

その他委員会

推 薦 委 員 会	看	加藤 佐織	琵琶湖中央リハビリテーション病院
	助	小山 彩萌	南草津野村病院
	保	岡村 直子	甲賀市役所
	看	中谷麻美子	東近江市立能登川病院
	看	古川みどり	豊郷病院
	看	橘 周子	長浜市立湖北病院
	看	宇田 洋海	高島市民病院

選 挙 管 理 委 員 会	看	堀尾志津江	滋賀医科大学医学部附属病院
	看	藤川千江子	滋賀県立精神医療センター
	看	高岡 仁美	甲賀市立信楽中央病院
	看	奥村真奈美	近江温泉病院
	看	伊野 頼子	彦根市立病院
	看	西村 好栄	長浜赤十字病院

令和8年度 日本看護協会通常総会 代議員

黒橋真奈美	保	滋賀県立大学
西本 美和	保	大津市役所
吉岡 千晴	助	高島市民病院
岡田 幸子	看	滋賀県看護協会
北尾知恵子	看	市立野洲病院
伊藤 雅子	看	市立長浜病院
奥村 茂	看	青葉病院
新川 康子	看	地域包括ケアセンターいぶき
中江 春喜	准	青葉病院

令和8年度 日本看護協会通常総会 予備代議員

松並 睦美	看	特別養護老人ホーム 淡海荘
村中千栄子	看	滋賀県看護協会
小寺 利美	看	滋賀医科大学医学部附属病院
谷川摩里子	助	近江八幡市立総合医療センター
畑 朋代	准	彦根中央病院
伊富貴初美	看	大津赤十字病院
早川 初美	看	友仁山崎病院
藪下 初代	看	甲南病院
角田 智也	看	今津病院

地区支部役員

第 1 支 部	支 部 長	北川 有紀	滋賀医科大学医学部附属病院
	副 支 部 長	齊藤 智美	琵琶湖大橋病院
	書 記	板谷 理絵	大津赤十字志賀病院
	広 報	堀切 利香	JCHO滋賀病院

第 2 支 部	支 部 長	北尾知恵子	市立野洲病院
	副 支 部 長	奥村しづ子	滋賀県立総合病院
	書 記	山田 正美	南草津病院
	広 報	浅村 絵里	滋賀県南部健康福祉事務所(草津保健所)

第 3 支 部	支 部 長	大西 明子	独立行政法人国立病院機構紫香楽病院
	副 支 部 長	石井 淳子	医療法人社団 美松会 生田病院
	書 記	下田恵利奈	湖南市役所
	広 報	福井 伸彦	水口病院

第 4 支 部	支 部 長	奥村 茂	医療法人社団 幸信会 青葉病院
	副 支 部 長	中川 聖子	医療法人社団 昂会 日野記念病院
	書 記	清水有紀子	医療法人社団 昂会 湖東記念病院
	広 報	古池めぐみ	医療法人 医誠会 神崎中央病院

第 5 支 部	支 部 長	藤田 晶子	彦根市立病院
	副 支 部 長	木村 千江	豊郷病院
	書 記	奥 直	彦根中央病院
	広 報	間塚 真央	友仁山崎病院

第 6 支 部	支 部 長	伊藤 雅子	長浜市立病院
	副 支 部 長	五町森ひろみ	長浜市立湖北病院
	書 記	奥沢恵津子	長浜保健所
	広 報	宮崎 功将	セフィロト病院

第 7 支 部	支 部 長	岡田 裕子	高島市民病院
	副 支 部 長	松井奈津子	介護老人保健施設 陽光の里
	広 報	石黒 徳章	今津病院
	会 計 / 書 記	上原絵梨奈	高島市役所

一年間よろしくお願ひします。

第1地区支部

支部長 北川 有紀

看護機能連携強化の基盤作りを目指し、看護ネットと連携した活動

①第1回研修会:2024/7/13開催「能登半島地震における災害支援活動の報告」災害支援活動についてそれぞれの立場から、考える機会となりました。②第2回研修会:2025/3/22看護ネットと協働開催[講師]田村祐樹先生をお招きし「日々、頑張る看護師さんへエール～癒しのケア・心のケア～」をテーマに現場で頑張る看護職の方々が少しでも元気な気持ちになれるような研修を企画しました。③出前講座「スペシャリストに学ぶ」事業。大津圏域の9施設で研修を開催。④大津健康フェスティバル参加:2024/10/6「まちの保健室」市民向けに救急蘇生とAED体験、白衣体験を実施。⑤地区支部だより年2回発行:研修会の様子、他機関との連携状況、第1地区支部内の施設などを紹介⑥わたSHIGA輝く国スポ・障スポリハーサル大会協力⑦その他の機関からの依頼事業への参加



第2地区支部

支部長 上野 竜也

2024年度、第2地区支部では、看護職のメンタルヘルスと地域包括ケアの強化に向けた多職種連携等について取り組みました。

●6月:地区支部集会・研修会/ケアする看護師自らのメンタルヘルスを大切にしながら働き続けるためのマネジメントについて精神専門看護師から学びました。●9月:まちの保健室/今年も「希望が丘秋まつり」に出店し、多くの県民の方に健康について考えていただく機会と看護職のPRを行いました。●11月:秋の研修/訪問看護ステーションで活躍されている理学療法士さんの活動を伺い、多職種連携の中で看護師が担うべき役割について考える機会となりました。●2月:コアネットKONAN(地域看護ネット)との共催で、日頃行っているけど学びの機会が少ないテーマとして「成年後見制度」を学ぶ研修を開催。●6月目を迎えた「出前講座」は6施設で開催し、専門・認定看護師からそれぞれの施設の課題や目標に沿った研修で、とても身近に理解が深まったとの感想が寄せられました。2025年度もさらに地区支部のニーズに応えられるような事業を展開してまいります。



第3地区支部

支部長 大西 明子

限られた看護人材や施設の中で、スムーズな医療・看護と介護が提供できるように

第3地区支部は滋賀県看護協会の中でも会員数が少ない支部です。会員同士が顔の見える関係を築くことに重点を置いています。開催した全ての研修会・看護研究発表会でグループワークを行い、課題のディスカッションだけでなく、日ごろの悩みや困りごとが気軽に話せるように計画した。地域の健康啓発イベントに滋賀県看護協会として参加し、健康管理や感染予防、看護の魅力推進が図れる活動を行った。コロナ禍で中止していたスポーツ交流としてフットサル大会を数年ぶりに開催し、一緒に汗を流し、笑いあひながら会員同士の交流を深めた。



第4地区支部

支部長 国領 久美

●10月19日:認知症看護研修会「パーソン・センタード・ケアを用いて考えてみよう」を実施。●11月17日:愛東コミュニティセンターにて出前講座「ナースのお仕事体験」を開催。子供を対象にユニフォームの試着、聴診器を用いた聴診、包帯法の体験を行い、看護師を目指す子供からの質問に答えるなど、市民の方々とふれあえる機会となった。●11月24日:東近江市健康フェアにまちの保健室として参加。手洗い後の洗い残しチェック、ロコモ度テスト、健康相談を行った。●1月11



日:地域包括ケアフォーラム「災害への備え～東近江圏域の保健医療福祉の支援・連携体制～」を開催し、日ごろの備えがいかに大切であるか認識を深めた。次年度はDMAT看護師より「平時の災害体制について学ぼう」と「受援体制について考えよう」という2つのテーマの研修予定。会員の皆様の暖かいご理解とご支援・ご参加の程をよろしくお願い致します。

第5地区支部

支部長 藤田 晶子

地区支部の連携強化と看護力の向上を目指した活動

①11/9まちの保健室:聖泉大学「万聖祭」で手洗いチェック・指導(参加者162名)幅広い世代が来場され、手洗いの重要性を再確認してもらうことができた。②11/21出前講座:ストレスマネジメント「ストレスに負けない自分づくり」(参加者31名)研修を通じて自己ケア意識が高まったとの意見が多く、高評価を得ることができた。③2/15全世代型地域包括ケア推進フォーラム「Do it ナラティブ」(参加者66名)「地域の看護職と看護を語ろう!」をテーマに看護職の看護観の醸成を図る目的でフォーラムを開催した。様々な看護職の語り、自分の大切にしている看護を見つめなおす機会となり、満足度の高い研修になった。



第6地区支部

支部長 川森 百合子

地域包括ケアを支える看護職の連携を強化し、地域のあらゆる場で働く看護職が参加できる研修等を企画し、これらを通じて看護協会の活動を推進する。

【重点1:看護の質向上のための看護実践能力の強化】「能登半島地震災害派遣から学ぶ」をテーマにシンポジウムを開催。113名参加。災害支援ナース等の活動を通じて参加者それぞれの立場で受援体制について考え課題を共有する場となった。

【重点2:看護職等の確保定着及び働き続けられる職場環境づくりの推進】地域を支える看護の魅力発信「住み慣れた地域で、看護の力を」をテーマに講演会を開催。82名参加。地域を支えている様々な取り組みを知り相互連携強化につながる機会とした。

【重点3・4:看護職連携強化による地域看護力の向上・組織力強化】地域看護ネットと共催し、出前講座を7回実施。「まちの保健室」3回開催。湖北圏域で活動する看護職と連携し事例検討会を3回開催。「その人らしさを支えるためのACP」をテーマに東浅井診療所:松井医師を迎えて研修会を開催。100名近い参加者があり、明日から取り組める実践的な内容との高評価を得た。



第7地区支部

支部長 岡田 裕子

【重点事業1】●9月:「入退院支援事業」として済生会滋賀県病院の西田ユカ氏、市立長浜病院の伊藤雅子氏、高島市民病院の坪井聖子氏を迎え「外来支援情報交換会」を実施。●3月:「看護研究・活動報告会」では、7題の演題に対して滋賀県立大学人間看護学部本田加奈子先生に講評を頂き、施設ごとの取り組みについて共有できた。

【重点事業3】●9月:「卒後3年目研修」として「高島マイウエイノートについて」在宅療養支援センター大辻恵子氏より説明を頂き、ACPIについての理解を深めることができた。●10月:「新人リフレッシュ研修」では、38種類のパッチフラワーレメディの説明を受け、現在の自身の感情とその感情に対する対応の仕方を学んだ。「湖西圏域看護ネット」活動においては、ニュースレターの発行を3回実施し、市内6施設の紹介と地域ケアフォーラムとして高島市役

所健康推進課:車屋由子氏より「高島市が目指すライフステージにおける健康・福祉事業について」を説明いただき、改めて高島市の医療福祉事業と自部署の役割について確認できた。

令和7年度の活動については、6年度の活動の振り返りと会員皆様のご意見を聞きながら、進めてまいりたいと思っております。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



委員会 活動報告

保健師職能委員会

委員長 / 大津市役所長寿福祉課 西本 美和

保健師職能委員会では、「自治体保健師と地域の看護職の連携による取組の推進」として、令和7年1月24日に「看護の力で地域を支えよう～しなやかで折れることなく立ち直る力を高めよう～」をテーマに、三職能(保健師・助産師・看護師)合同研修会を開催しました。

保健師・助産師・看護師は、それぞれの国家資格により、色々な現場で働いていますが、どの現場も人材確保に苦慮していることに加え、地域包括ケアを推進していくためには互いの連携が重要になることから、「地域看護力」の向上を目指して企画しました。

“しなやかで折れることなく立ち直る力”は、看護職として「上手くいった経験」を振り返り、「なぜ上手くいったのか」の「知」を見出すことにより力が培われることから、その手法に関する講義や、経験から学ぶグループワークを行いました。

参加者からは、「対象となる患者さん・住民さんやそのご家族の想いに寄り添い、それを叶えたいと思う強い気持ちがわいた」、「将来を考え、その方より良い未来のために今出来ることを考えられた」といった声が聞かれ、看護職に共通する視点を確認できるとともに、「各職種の違いを知った上で協働したい気持ちになった」という感想も聞かれました。三職能合同研修会を開催したことにより、看護職のネットワークが深まったと感じ、今後も継続したいと考えています。



助産師職能委員会

委員長 / 滋賀医科大学医学部看護学科 立岡 弓子

助産師の兼業・副業について調査を行い、75%が兼業・副業を行い、そのうち23%が経済的余裕、45%が成長意欲を理由としていることがわかった。また、滋賀県の「プレコンセプションケア推進事業」や「分娩体制在り方検討委員会」に参画し、母子保健事業に関する情報をタイムリーに得られるようにした。3月の職能集会上では、母子保健事業に基づく助産師の働き方改革にむけた現場の声を集める機会を持った。

助産師の労働環境や待遇改善、キャリア支援の充実、柔軟な勤務形態の導入が重要であること、専門性を活かした制度設計を進めながら、行政と連携した持続可能なキャリアパスの構築が急務であること等を改めて確認した。



滋賀県の分娩体制は大きな転換期にあり助産師の就労環境も厳しくなる。本委員会では病産院助産師の視点から、周産期医

療の再構築のための取組みを引き続き担っていく。行政には、教育支援や柔軟な就業形態の促進、地域間の医療格差解消に向けた施策への病産院助産師の参画を求めている。

看護師職能I委員会

委員長 / 滋賀医科大学医学部附属病院 小寺 利美

急激な人口減少と少子高齢化が進む中、医療ニーズが高まり、看護職確保は重大な課題であり、各施設の中でも看護職の定着化、勤務負担の軽減などに積極的に取り組まれている。また、看護職が、「働き続ける」ために「必要な学び」の生涯学習支援も、具体的に検討されている。

そこで、本委員会では、『病院現場における看護職活動の課題検討と解決に向けた取組み』を目的に、「多様で柔軟な働き方」、「生涯学習支援に関すること」、「看護補助者活用に関すること」について取り組んでいる。看護師職能I交流会では、キャリアコンサルタント 加賀有未先生を招聘し、テーマ「これからの時代に求められる看護職のキャリア形成」について特別講演を開催した。終了後のアンケートでは、「看護協会の取組みを知り、自施設の課題を考える機会になった」、「キャリア形成の支援のあり方がわかった」、「交流会に参加しヒントが得られた」など、生涯学習支援について考える機会となった。



看護師職能II委員会

委員長 / 地域包括ケアセンターいぶき 新川 康子

病院以外の看護の場である「介護・福祉関係施設・在宅領域等」を職能II領域と言います。

一事業所で働く看護師は少なく一人で判断することが多いため、孤独や責任の重さを感じたり、他職種との協働に悩んでいるという声が聞かれる。超高齢化社会となり、病院で「治す」ことから、介護・福祉と連携して「治し支える」という地域完結型医療へ転換されてきており、職能II領域で働く看護師への期待は高い。

職能II委員会は様々な職場で働く看護師8~9名で構成され、ワークライフバランスを保ちながら働き続けられるように支援活動をしている。最新の情報を共有し、その情報から最適研修の立案・開催、職能II通信の発行を行っている。

介護施設や事業所で「高齢者虐待防止の推進」が義務化されたので、虐待防止に関する研修を開催した。具体的な事例を用いて説明してもらい、各事業所で運用出来る有意義な研修となった。集合研修をすることで事業所を超えて交流出来る機会を作っている。職能II通信に、BCP(自然災害)の訓練状況や研修報告を掲載した。





滋賀県ナースセンター

SHIGA NURSE CENTER

NEW

再就業チャレンジ支援事業を開催します

今年度潜在看護職の方の復職をより後押しするために「再就業チャレンジ支援事業」を行います。事業内容は ①再就業を果たした先輩看護職を交えた交流会 ②再就業を検討する施設での研修 ③ナースセンターによる就業支援と就業後のフォローアップ

*皆様の施設で研修受講する際はどうぞよろしくお願いいたします。
*お知り合いの潜在看護職がおられたら、ぜひおすすめください。



リスタートナースサポート研修を開催しました

再就職をめざすナースを対象に、研修（講義+eラーニング）・実習・就業相談を含むプログラムで第1回目を6月に開催しました。受講者は11名で聴講のみならず、積極的に技術演習に取り組み、活発に意見交換をされていました。次回はくすのきセンター（彦根）で9月に開催します。再就業を支援するプログラムとなっていますので、是非ご参加ください。



学生キャリア支援ガイダンスを開催しました

6月13日滋賀県堅田看護専門学校、7月7日甲賀看護専門学校で実施しました。地域の様々な場所で働く先輩看護師の経験談を聴きグループワークを行いました。グループワークには先輩看護師も参加し、アドバイスをもらえました。「キャリアは多様なものであると知った」「考えの幅が広がった」との感想があり、看護の多様性を知ることでの自分の適性に合ったキャリアデザインを考える時間となりました。



今後のナースセンター事業予定

- 7月27日⑩……………看護職・看護補助者就職説明会 (in グリーンホテルYes近江八幡)
- 7月末～8月中旬……高校生一日看護体験・中学生一日看護体験
- 7月・9月……………魅力配達事業 (7月高校13校・中学1校、9月高校4校・中学1校)
- 8月11日⑨……………すまいるあくしょんフェスタ (in 守山市民ホール)
- 8月31日⑩……………健康しがフェスタ (in イオンモール草津)
- 毎月開催……………復職支援研修・採血注射技術演習
- 9月2日⑩……………第2回 リスタートナース研修 (in 彦根くすのきセンター)
- 9月1日⑩～3カ月……第2回 復職支援研修・eラーニング視聴研修

詳細は決まり次第、ホームページに掲載します。開催の様子も随時掲載しますのでチェックしてね!!



お問合せ先

- 滋賀県ナースセンター…TEL.077-564-9494 / FAX.077-562-8998
フリーダイヤル ☎ 0120-22-9494 (祝祭日除く月～金9:00～17:00)
- 彦根サテライト……………TEL.0749-30-1235 / FAX.0749-30-1233
- E-mail: shiga@nurse-center.net

詳細はホームページをご覧ください



訪問看護支援センターだより



訪問看護支援センターでは以下の3つの取り組みを行っています。

- 1 訪問看護ステーションの機能強化支援
- 2 訪問看護人材確保に向けた取り組み
- 3 訪問看護師キャリアアップに向けた取り組み

なかでも訪問看護師キャリアアップに向けた取り組みでは、講義だけでなく演習・体験・同行訪問などを多く実施しております。座学で得た知識を深め、より質の高い実践力を身につけることをねらいとしています。

例えば…

- 看護協会内での演習
 - ▶小児BLS・ポジショニング研修(演習)
- 訪問看護ステーションへ出向いての同行訪問
 - ▶訪問看護師養成講習会
 - ▶小児訪問看護研修
 - ▶訪問看護体験(訪問看護未経験の看護師)
 - ▶看護学生対象訪問看護インターンシップ 等



参加者の感想 ……講義だけでは学べないたくさんを感じたり習得されています。

- 病院と在宅の場で看護を提供する大きな違いは、その場に自分以外の看護師が居ないということ。看護師の責任の大きさを再認識した。
- 短い時間の中で多くの学びをさせて頂いたことを今後の訪問看護師としての経験に行かさせていけらと考える。
- 小児看護の特徴や技術、実際の現場でしかわからない雰囲気など多くを感じ学ぶことができた。
- 他のステーションに行き、日々のケアを見せて頂き、とても勉強になった。
- 体験を通して自分のやりたい看護像がはっきりとした。
- 有意義な体験だった。訪問看護師はやりがいのある職種と感じた。(看護学生)

これからも現場の訪問看護師さん達と協議しながらスキルアップに直結するような研修を企画していきます。皆様の感想ご意見お聞かせください!

